

2021年度 第1回 北栄町歴史民俗資料館運営委員会 議事録

日時 2021年6月16日(水)

午後1時15分～2時00分

場所 北条農村環境改善センター 小研修室

参加者 北栄町文化財保護委員 : 横濱純一・南場兄一・日置桑左エ門・遠藤晃子
老人クラブ連合会代表 : 吉田康博
女性団体連絡協議会代表 : 濱本武代
事務局 : 別本勝美教育長・手嶋寿征生涯学習課長・
前田美友紀文化スポーツ推進室室長・池口沙弥香文化スポーツ推進室主事・
門脇博北栄みらい伝承館学芸員
欠席 : 中前雄一郎(北栄町文化財保護委員)・松岡仁志(自治会長会代表)

1. 開会

課長 : 開会に先立ちまして、自己紹介をさせていただきます。4月から生涯学習課の課長になりました手嶋と申します。よろしくお願いいたします。それでは、委員長のあいさつをお願いします。

2. あいさつ

委員長 : コロナ禍の中で、状況は落ち着いてきているように見えますが、変異株もありどうなるかわかりませんので注意していきましょう。そして、我々の意見で、資料館がよりよくなりますよう、力を合わせてみなさん、ご協力よろしくお願いいたします。

3. 自己紹介

委員長 : 今回は新しい課長さん、新しい伝承館の学芸員さんもいらっしゃいますので全員が自己紹介しましょう。(各人、所属と名前を紹介)

4. 報告事項

(1) 2020年度実施事業について…【共通資料 P.1～3】

委員長 : 事務局お願いします。

職員 : 共通資料3ページ。民俗資料、考古資料の再整理・再保存、資料を活用した展示を実施。運営委員会 年2回。

展示事業については6本の企画展を実施。(それぞれの内容・入館者数を報告)
年間の総入館者数は2,596名。

委員長 : ただ今の報告に関して、ご意見、質問がありましたらお願いします。

委員 : 「生田和孝の手仕事」展について、町外者が町内者の約3倍となっており、多くの方に見ていただいてありがたいと思いました。

委員長 : だいたい、どれぐらいの来館者があれば良かったと言えるのですか。

室長：毎回、前年より多くなることを目標にしています。

委員長：コロナ禍の中でも多くなっているのよかったですよね。

教育長：平成30年度より、令和元年度が約1,000人ほど減っている原因は？

室長：企画展の準備期間が十分ではなくなるため、令和元年度から企画展の本数を減らしています。新しい企画展を開催すれば、その分来館者数も増えるが。あとは、大きな企画展（県との共同開催など）をするかどうかで変わってきます。

委員長：その他ご意見、質問がありましたら。（特になし）

5. 協議事項

(1) 2019年度事業計画について…【共通資料 P.4～5】、資料 P.3～13

委員長：事務局お願いします。

職員：共通資料4ページ。企画展6回、常設展は4回入れ替え。企画展の内容については門脇学芸員から説明してもらいますが、年間スケジュールは資料3ページのとおりです。

学芸員：資料5ページからが今年度の企画展の開催要項となっています。

山本奈美枝展：入館者は25日間の開催で347名。ギャラリートークを実施し、27名参加。

北栄町の歴史：大昔のすまいのかたちとして主に弥生時代の発掘遺物や建物跡を実際の遺物やパネル等で紹介。

夏休み昆虫展：源光男氏の協力により、昆虫標本や写真を紹介。標本の作り方を交えた展示解説を3回開催を計画。

齋尾慶勝展：県立公文書館・大和ミュージアム・イラストレーター毛利彰の会の協力で齋尾氏の業績を展示。会期中に齋尾氏に関する講座を開催。

不滅の刀展：伯耆の国に關係する刀15本を展示（廣賀含む）。会期中に子どものための刀剣講座開催（7組限定）。

生活道具展：千歯こき・唐箕等の米作りに使われた農具を展示。

委員長：企画展・常設展の説明がありましたが、ご意見がありましたら。

委員：【資料9ページ】子ども対象の刀剣講座とは。

学芸員：子どもを対象にしたのは、大人向けの刀剣の講座はよくあるが、次代を担う子どもにも、刀剣の見方や面白さ・美しさを知ってもらうため。翌日、県立博物館でも同様の講座が企画されています。

委員長：講座のレベルとしてはどんなものですか。

学芸員：名称等を含め、実際の刀剣を間近で見てもらい、魅力等を解説してもらう予定。

委員：伯耆にゆかりのあるとはどういうことか？北栄町との関係はありますか。

学芸員：伯耆国の刀工の廣賀の刀も展示する。廣賀は、由良の刀工道祖尾家も同じ一派。

委員：とても興味ある展示だが、刀剣の展示は伝承館では初めての開催ですか。

学芸員：平成20年に開催しているが、好きな方が多いのでその際も大きな反響がありました。

委員：子ども向けの刀剣講座もいいが、大人が聞くことができないですか。

室長：資料に掲載していなかったが、11月27日に県がこの会場（北条農村環境改善センター）で刀剣のフォーラムを開催予定なので、大人の方はそちらに参加してください。

委員長：今は刀剣女子などもあるので、この機会に観光PRなどにもつなげてください。他にはなにかありますか。昆虫展の源さんとはどういった方ですか。

学芸員：70年にわたり昆虫標本づくりをされている。標本展も県内各地で実施している。

委員長：展示の際になぜ、昆虫・標本づくりにはまっていったのかという人となりも紹介できれば、子どもたちにいい刺激になるのと思います。

委員：標本の作り方も交えた展示解説とは、標本を実際に作るのですか。

学芸員：当初はそう考えていたが、作るとなると虫を採取するところから始まり、とても対応できないとのことでした。そのため、展示の中でパネルや実物の作成途中のものなどを展示して作り方を示しながら展示解説してもらうことになりました。

委員長：その他、質問はありませんか。ないようでしたら、次の郷土の作家たちについて。

学芸員：郷土の作家たち（案）について

（各候補作家の出身・受賞歴などを説明）

来年度は山下さん、2023年度は小林さんということで現時点は進めさせていただきたい。また、辞退等あった場合はまた候補者の方の中から、分野が続かないよう考えて依頼していきたいと思っています。

委員：今の時代を担う若い山本隆博さんにぜひ地元で活躍してもらいたい。早めに展示してほしいです。

学芸員：とても緻密で、製作にはとても時間がかかるだろうと思われる作品です。来年、再来年は無理でも、早めに声をかけていきたいと思っています。

委員長：2022・2023年度は現在候補に挙げている方で進めていくということで、また中でも山本さんは早めという声がありましたのでそれを含めて検討してください。その他ご意見ありましたら。（特になし）

続いて、設備改修について。

職員：今年度は、展示室2のガラス内のスポットライト設置、ガラスショーケース内のライト設置を予定しており、9月13日から18日が臨時休館予定です。刀剣展示に合わせて工事を進めているが、これは今後の展示にも役立つものです。

委員長：ご意見はよろしいですか。（なし）

（2）その他

委員長：何かありますか。（なし）

6. その他

委員長：委員のみなさん何かありませんか。（なし）

7. 閉会